

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】



オール沖縄会議が呼びかけた 「辺野古新基地建設の断念を求める署名」 約56万名分を提出

6月13日、オール沖縄会議が呼びかけた「辺野古新基地建設断念を求める国会請願署名」実行委員会は国会内で集会を開き、辺野古新基地建設の断念を求める署名55万9224名分の署名を野党国会議員に提出。署名実行委員長 稲嶺進さんは、「辺野古新基地問題は日本の民主主義と地方政治のあり方を問う問題」と述べました。

この署名の中には憲法共同センターと安保破棄中央実行委員会が呼びかけ、全国の皆さんから寄せられた6万8827分の署名も含まれています。ご協力ありがとうございました。

引き続き辺野古新基地建設反対の取り組みを強めていきましょう。



あいさつする稲嶺進実行委員長



国会議員の皆さんに署名を渡す代表たち

No.23-17
2023年6月19日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061東京都千代田区神田三崎町2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

座り込み7000日「白紙に戻るまで闘おう」 沖縄・辺野古新基地建設阻止へ240人

新基地建設に抗議する座り込みの開始から7千日目を迎えた名護市辺野古の「浜テント」で18日、ヘリ基地反対協議会が集会を開いた。約240人が参加し、日米両政府が基地建設を断念するまで諦めないことを確認するアピールを採択した。

「浜テント」は2004年4月19日、埋め立て工事に向けた海底ボーリング調査の阻止を目指して、辺野古漁港の隣の護岸に設置された。以来19年2カ月にわたり、抗議活動や訪れる人々の交流の場となってきた。

集会でヘリ基地反対協の仲村善幸共同代表は「『普天間飛行場の一日も早い危険性の除去』は、基地建設を強行し、沖縄の運動をつぶすための国家権力の方便。きょうこの場をあらためて決意の場にしたい」とあいさつ。

オール沖縄会議の稲嶺進共同代表は、新基地建設の断念を求める国会請願署名が全国から59万9千筆余り集まったことを報告し「辺野古の問題を自分事として捉えてくれた全国の人々の思いを受けて、基地建設が白紙に戻るまで闘おう」と呼びかけた。

沖縄タイムス6/19付より

6月宣伝行動

6月23日(金) 12時～ 新宿駅西口地下広場
新安保条約発効63年・沖縄慰霊の日
全国革新懇と共催での実施です。
参加をお願いいたします。